

## ◆回答

ダムの下流にある地域の洪水被害を軽減するため、洪水時にダムに流れ込む水量の一部をダムに貯める※ことで、ダムから下流の河川に流れる水量を減らすことをいいます。山鳥坂ダムで行う洪水調節により、ダムから下流の肱川の水位を確実に低下させることで、肱川流域の安全度を向上させます。

## ※洪水時のダムの操作に関する基本的な考え方

- ・ダムに貯めることの出来る水の量には限りがあります。
- ・大きな洪水にも対応できるよう、ダムの容量をできるだけ有効に活用するためには、ダムに水を貯めなくても下流に被害のおそれがないときには水を貯めず、ダムの容量を残しておく必要があります。
- ・そして、水量が大きくなってこのままでは下流に被害が生じそうなときに、ダムに水を貯めはじめて、下流の河川に流れる水量を減らして流します。
- ・計画を超える洪水が発生した場合には、緊急放流を行うこととなります。緊急放流とは、計画を超える規模の出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、放流量を徐々に増加させ、流入量と同程度の水を流す操作です。